



2020年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月3日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4699 URL <https://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 英則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

TEL 047-382-4111

四半期報告書提出予定日 2020年6月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第3四半期の連結業績(2019年7月21日～2020年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年7月期第3四半期 | 13,597 | 37.2 | 1,539 | 183.8 | 1,542 | 181.8 | 1,001 | 165.0 |
| 2019年7月期第3四半期 | 9,908 | 4.2 | 542 | 34.0 | 547 | 33.6 | 378 | 39.9 |

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 1,021百万円 (163.0%) 2019年7月期第3四半期 388百万円 (40.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年7月期第3四半期 | 278.63 | |
| 2019年7月期第3四半期 | 105.14 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年7月期第3四半期 | 13,323 | 6,284 | 47.2 |
| 2019年7月期 | 11,904 | 5,407 | 45.4 |

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 6,284百万円 2019年7月期 5,407百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年7月期 | | 0.00 | | 40.00 | 40.00 |
| 2020年7月期 | | 0.00 | | | |
| 2020年7月期(予想) | | | | 40.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年7月期の連結業績予想(2019年7月21日～2020年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 15,900 | 16.1 | 1,300 | 58.6 | 1,300 | 56.8 | 850 | 49.9 | 236.41 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年7月期3Q | 3,600,000 株 | 2019年7月期 | 3,600,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年7月期3Q | 4,647 株 | 2019年7月期 | 4,602 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年7月期3Q | 3,595,374 株 | 2019年7月期3Q | 3,595,398 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、通商問題の動向等による不確実性や、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等に加えて、第3四半期連結会計期間（2020年2月～4月）においては、新型コロナウイルス感染症拡大による社会活動や経済活動への様々な影響が顕在化いたしました。

当社を取り巻く環境では、2020年1月にサポート終了を迎えたWindows7パソコンのリプレース対応や、2020年をピークとしたオフィス新改築需要への対応、学校市場において拡大するICTサービス需要への対応が求められました。

このような環境下において、当社グループは、当期が初年度となる第11次中期経営計画（2020年7月期～2022年7月期）を着実に推進しております。この計画の推進及び経営管理のツールとして、当社ではバランススコアカードを使用しており、14の重要成功要因との中で特に重視する重点基本方針である「顧客体験価値（CX：Customer Experience）の創造 ～心のこもったおもてなしの提供～」に基づく事業分野毎の目標達成に積極的に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績については、主としてICTサービス事業における学校市場向けIT機器の販売やICTサービス販売が大きく伸長し、民間市場においてもICTサービス販売が堅調に推移したこと等により、売上高は135億97百万円、前年同四半期比36億89百万円（37.2%）の増加となりました。利益面では、営業利益は15億39百万円、前年同四半期比9億96百万円（183.8%）の増加、経常利益は15億42百万円、前年同四半期比9億94百万円（181.8%）の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期連結会計期間における浦安テクニカルセンター（千葉県浦安市に所有している土地、建物）の減損損失（82百万円）等により、10億1百万円、前年同四半期比6億23百万円（165.0%）の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業セグメントの概況は以下のとおりです。

(ICTサービス事業)

当社が得意とするさまざまなメーカー製品の保守等を行うマルチベンダーサポートの強化、Windows7パソコンリプレース需要の積極的な取り込み、並びに学校市場においては、拡大するICTサービス需要への対応等に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績については、大型案件を含む学校市場向けタブレット型端末等の販売及び導入サポート案件が集中したことに加えて、学校市場及び民間市場向けのICTサービス販売が堅調に推移したことにより、売上高は95億7百万円、前年同四半期比29億24百万円（44.4%）の増加、セグメント利益は13億57百万円、前年同四半期比7億31百万円（116.8%）の増加となりました。

(オフィスシステム事業)

サプライビジネスにおいては、お客さま専用Webサイト及びクラウド型間接材調達支援サービスの推進等による直接販売の拡大に取り組ましました。オフィスビジネスにおいては、販売促進活動の積極的推進、プロジェクトマネジメント力の強化、並びにIT関連機器販売の拡大等に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、サプライビジネスの販売が堅調に推移したこと、IT関連機器の販売が増加したこと、並びにオフィスビジネスにおいて首都圏のオフィス移転及びリニューアルの需要を積極的に取り込んだこと等により、売上高は32億54百万円、前年同四半期比5億28百万円（19.4%）の増加、セグメント利益は1億24百万円、前年同四半期比94百万円（317.7%）の増加となりました。

(ソリューションサービス事業)

販売パートナーとの連携を強化し、各市場のお客さまに当社が得意とするアプリケーションソフトの導入及び運用支援サービスの提案を強化するとともに、業務プロセスの品質改善、お客さま満足度の向上及び生産性向上に継続的に取り組ましました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、民間企業、教育機関及び公共機関向けパッケージソフトウェアの導入サポートに係る販売が好調に推移したことにより、売上高は8億35百万円、前年同四半期比2億36百万円（39.4%）の増加、セグメント利益は56百万円、前年同四半期比1億70百万円の増加（前年同四半期はセグメント損失1億14百万円）となりました。

なお、当連結会計年度より、「ICTサービス事業」に属しておりました、福祉市場の営業及びサポート機能を担当する部門を「オフィスシステム事業」に、校務システムに係る営業機能を担当する部門を「ソリューションサービス事業」に、それぞれ移管いたしました。報告セグメントの区分変更につきましては9頁「報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は133億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億19百万円増加しました。

流動資産は110億22百万円、前連結会計年度末比13億19百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加6億34百万円、受取手形及び売掛金の増加2億49百万円、その他流動資産の増加2億12百万円、並びに仕掛品が1億18百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は23億0百万円、前連結会計年度末比99百万円の増加となりました。これは主に土地の減少25百万円、並びに無形固定資産が16百万円減少したこと等に対して、繰延税金資産の増加1億13百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加19百万円、並びに敷金及び保証金が14百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は70億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億42百万円増加しました。

流動負債は55億92百万円、前連結会計年度末比4億4百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2億43百万円減少したこと等に対して、前受金の増加2億78百万円、賞与引当金の増加2億45百万円、並びに未払法人税等が1億50百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は14億46百万円、前連結会計年度末比1億37百万円の増加となりました。これはリース債務の増加1億16百万円、並びに退職給付に係る負債が20百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は62億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億77百万円増加しました。これは主に配当金の支払1億43百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益10億1百万円の計上による利益剰余金の増加8億57百万円、並びにその他有価証券評価差額金が11百万円増加したこと等によるものです。

自己資本比率は前連結会計年度末の45.4%から1.8ポイント増加し、47.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月4日付「2020年7月期第2四半期決算短信」にて公表致しました数値からの変更はありません。

<新型コロナウイルス感染症拡大の影響について>

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社業績に各種の影響が生じる可能性があります。具体的には、特に民間企業におけるテレワークの実施により商談機会が減少していることから、各種個別案件の受注確定の遅延や受注確定案件の着手延期、並びに景気後退に伴う投資抑制等が想定されます。

一方、学校市場におけるICT投資の前倒し及び拡大、並びに民間市場におけるテレワーク化推進に伴うICT需要の発生も想定され、当社業績に与える影響を合理的に予測することは困難な状況です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年7月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年4月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,722,063 | 6,356,264 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,400,602 | 2,649,699 |
| 電子記録債権 | 1,202,440 | 1,318,765 |
| 商品 | 127,242 | 137,380 |
| 仕掛品 | 73,835 | 191,883 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,124 | 3,196 |
| その他 | 154,104 | 366,143 |
| 貸倒引当金 | △683 | △819 |
| 流動資産合計 | 9,702,729 | 11,022,514 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 342,925 | 329,717 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 68,603 | 88,314 |
| 土地 | 718,902 | 693,332 |
| リース資産（純額） | 58,049 | 51,447 |
| 有形固定資産合計 | 1,188,481 | 1,162,812 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 121,740 | 134,907 |
| 敷金及び保証金 | 189,339 | 204,305 |
| 繰延税金資産 | 540,697 | 654,061 |
| その他 | 3,017 | 2,799 |
| 貸倒引当金 | △762 | △743 |
| 投資その他の資産合計 | 854,032 | 995,329 |
| 固定資産合計 | 2,201,325 | 2,300,770 |
| 資産合計 | 11,904,054 | 13,323,285 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年7月20日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年4月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,911,094 | 1,667,804 |
| 短期借入金 | 260,000 | 110,000 |
| リース債務 | 25,614 | 76,071 |
| 未払金 | 242,330 | 318,254 |
| 未払費用 | 454,818 | 446,285 |
| 未払法人税等 | 286,428 | 437,044 |
| 前受金 | 1,365,721 | 1,644,482 |
| 賞与引当金 | 440,652 | 686,581 |
| 工事損失引当金 | 3,730 | 2,980 |
| その他 | 197,159 | 202,718 |
| 流動負債合計 | 5,187,550 | 5,592,223 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,219,504 | 1,240,201 |
| リース債務 | 81,831 | 198,564 |
| 長期未払金 | 7,312 | 7,312 |
| 固定負債合計 | 1,308,648 | 1,446,078 |
| 負債合計 | 6,496,198 | 7,038,301 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 334,000 | 334,000 |
| 資本剰余金 | 300,080 | 300,080 |
| 利益剰余金 | 4,802,497 | 5,660,467 |
| 自己株式 | △2,170 | △2,258 |
| 株主資本合計 | 5,434,407 | 6,292,288 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 45,127 | 56,911 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △71,678 | △64,215 |
| その他の包括利益累計額合計 | △26,550 | △7,304 |
| 純資産合計 | 5,407,856 | 6,284,983 |
| 負債純資産合計 | 11,904,054 | 13,323,285 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月21日 至 2019年4月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月21日 至 2020年4月20日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 9,908,112 | 13,597,914 |
| 売上原価 | 7,174,718 | 9,657,023 |
| 売上総利益 | 2,733,393 | 3,940,891 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 6,852 | 7,852 |
| 給料及び手当 | 881,585 | 921,958 |
| 賞与引当金繰入額 | 249,784 | 319,457 |
| 退職給付費用 | 86,010 | 82,238 |
| 福利厚生費 | 65,236 | 68,788 |
| 賃借料 | 68,549 | 74,643 |
| 減価償却費 | 89,991 | 82,957 |
| その他 | 743,116 | 843,904 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,191,127 | 2,401,801 |
| 営業利益 | 542,265 | 1,539,089 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 144 | 137 |
| 受取配当金 | 1,679 | 1,901 |
| 受取手数料 | 1,815 | 1,127 |
| その他 | 2,981 | 1,456 |
| 営業外収益合計 | 6,620 | 4,621 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,178 | 1,135 |
| 不動産賃貸費用 | 391 | 390 |
| その他 | 51 | 151 |
| 営業外費用合計 | 1,622 | 1,676 |
| 経常利益 | 547,264 | 1,542,035 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 216 | 383 |
| 減損損失 | 2,892 | 83,352 |
| その他 | 224 | — |
| 特別損失合計 | 3,333 | 83,736 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 543,931 | 1,458,299 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 266,245 | 573,335 |
| 法人税等調整額 | △100,349 | △116,821 |
| 法人税等合計 | 165,895 | 456,513 |
| 四半期純利益 | 378,035 | 1,001,785 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 378,035 | 1,001,785 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月21日 至 2019年4月20日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月21日 至 2020年4月20日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 378,035 | 1,001,785 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,109 | 11,783 |
| 退職給付に係る調整額 | 9,124 | 7,462 |
| その他の包括利益合計 | 10,234 | 19,246 |
| 四半期包括利益 | 388,269 | 1,021,031 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 388,269 | 1,021,031 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年7月21日 至 2019年4月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------|----------------|-------------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | ICT サービス事業 | オフィス システム事業 | ソリューション サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,583,113 | 2,725,429 | 599,568 | 9,908,112 | — | 9,908,112 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 19,497 | 5,235 | 125,834 | 150,566 | △150,566 | — |
| 計 | 6,602,611 | 2,730,664 | 725,403 | 10,058,679 | △150,566 | 9,908,112 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 626,409 | 29,895 | △114,039 | 542,265 | — | 542,265 |

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|------|---------------|----------------|-------------------|-------|-----|-----------------------|
| | ICT サービス事業 | オフィス システム事業 | ソリューション サービス事業 | 計 | | |
| 減損損失 | — | — | 2,892 | 2,892 | — | 2,892 |

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年7月21日 至 2020年4月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------|----------------|-------------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | ICT サービス事業 | オフィス システム事業 | ソリューション サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,507,683 | 3,254,365 | 835,865 | 13,597,914 | — | 13,597,914 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 118,833 | 28,054 | 126,995 | 273,883 | △273,883 | — |
| 計 | 9,626,517 | 3,282,419 | 962,860 | 13,871,798 | △273,883 | 13,597,914 |
| セグメント利益 | 1,357,787 | 124,873 | 56,428 | 1,539,089 | — | 1,539,089 |

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年7月21日付の組織変更に伴い、従来「ICTサービス事業」に属しておりました福祉市場の営業・サポート機能を担当する部門を「オフィスシステム事業」に、校務システムに係る営業機能を担当する部門を「ソリューションサービス事業」に、それぞれ第1四半期連結会計期間より変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|------|---------------|----------------|-------------------|-------|--------------|-----------------------|
| | ICT サービス事業 | オフィス システム事業 | ソリューション サービス事業 | 計 | | |
| 減損損失 | 335 | — | 1,079 | 1,414 | 81,937 | 83,352 |

(注) 1. 「調整額」の金額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産です。